

定額タクシーを中心とした過疎地型Rural MaaS実証実験

(申請主体:株式会社バイタルリード)

地方郊外・過疎地型

国土交通省 新モビリティサービス推進事業 先行モデル

実験の概要

過疎地における生活交通の確保策として、AIを活用した配車・予約制御システムを備えた定額タクシーの実証実験を行う。運行状況確認、予約及び決済が可能なMaaSアプリを開発するとともに、貨客混載や生活サービス等との連携の仕組みを構築する。

本事業に参画する組織・団体

島根県大田市※、(株)バイタルリード、井田地区自治会、福光タクシー、石見交通(株)、広島大学大学院国際協力研究科、島根大学総合理工学部、鳥取大学工学部 ※交付申請までに申請主体の間で連携協定を締結予定

地域の交通課題

- 1) 高齢者等の日常生活における移動手段の確保
現行の交通サービスと高齢者等の日常生活における移動ニーズとのミスマッチ、地域内交通と幹線との連携強化
- 2) 公共交通の採算性向上
市の財政負担額の抑制・削減、運行事業者の採算性向上
- 3) 交通事業者のドライバー不足への対応
待遇や労働環境の改善によるドライバーの確保

本格的な導入に向けた検証項目、目標値

検証項目	目標値
定額タクシー定期券購入者数、利用者数	30人、600人／月
農産品等の集出荷の利用数	3人/日
宅配貨物と救援事業の利用数	100個/月、5人/日
定額タクシーの運行効率	時間帯別の稼働時間
交通事業者の総売上	125,000円／月
公共交通に対する市の財政負担額	現状の負担額を下回る
高齢者の外出率	現状の外出率を上回る

実験内容

Rural MaaSシステムの構築及び実証

- スマートフォン向けMaaSアプリによる、定額タクシー並びに農産品集出荷及びタクシー救援事業の予約・決済等の仕組みを構築
- AIによる運行経路の最適化と予約制御
- 接続する路線バスのダイヤや貨物輸送データと連携

定額タクシーの実証運行

- 運行形態: 道路運送法第4条による許可(区域運行)
- 運行区域: 井田地区内及び井田地区と地域拠点・交通結節点間
- 運行日: 月曜日～金曜日の8:30～14:30
- 運賃: 3,300円/月(定額制の乗り放題)
- 運行車両: 運行事業者が保有するタクシー車両1台
- 運行期間: 2019年11月～2020年2月(4ヶ月)
- 物流・生活サービスとの連携: 貨客混載と救援事業を併せて実施

商業や医療等の他分野における取り組みとの連携

- 地域の「小さな拠点」における特産品の製造販売や健康増進プログラム等と連携し、住民の生きがいづくりや外出機会増加を図る

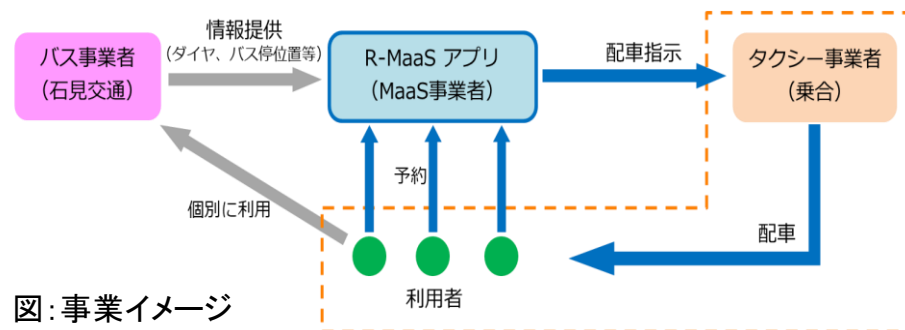


図:事業イメージ